

定期作況報告

(令和元年 8 月 20 日現在)
酪農試験場天北支場

I 気象概況

7 月下旬から 8 月中旬までの気象は以下のように推移した。

7 月下旬:最高気温が 24.9℃(対平年比+3.4℃)と平年より高く、最低気温は 19.0℃(+4.5℃)と高く、平均気温は 21.4℃(+3.6℃)と高かった。降水量は 76.0mm(147%)と平年より多かった。日照時間は 36.4 時間(75%)と平年よりやや短かった。

8 月上旬:最高気温が 23.5℃(対平年比+0.5℃)と平年並であり、最低気温は 18.2℃(+2.4℃)と平年より高く、平均気温は 20.6℃(+1.4℃)と平年よりやや高かった。降水量は 2.5mm(7%)と平年より少なかった。日照時間は 39.9 時間(85%)と平年並であった。

8 月中旬:最高気温が 18.4℃(対平年比-4.7℃)と平年より低く、最低気温は 14.7℃(-0.8℃)とやや低く、平均気温は 16.6℃(-2.5℃)と平年より低かった。降水量は 75.5mm(224%)と平年より多かった。日照時間は 16.1 時間(34%)と平年より短かった。

平均気温の 3 旬の平均は 19.5℃(+0.8℃)と平年よりやや高かった。降水量の 3 旬の合計は 154.0mm(126%)と平年よりやや多かった。日照時間の 3 旬の合計は 92.4 時間(65%)と平年よりやや短かった。

気象表

月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7 月	下	21.4	17.8	3.6	24.9	21.5	3.4	19.0	14.5	4.5
8 月	上	20.6	19.2	1.4	23.5	23.0	0.5	18.2	15.8	2.4
	中	16.6	19.1	△2.5	18.4	23.1	△4.7	14.7	15.5	△0.8
3 旬平均		19.5	18.7	0.8	22.3	22.5	△0.3	17.3	15.3	2.0

月	旬	降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(h)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7 月	下	76.0	51.7	24.3	7	3	4	36.4	48.6	△12.2
8 月	上	2.5	36.8	△34.3	1	3	△2	39.9	47.2	△7.3
	中	75.5	33.7	41.8	6	5	1	16.1	46.9	△30.8
3 旬合計		154.0	122.2	31.8	14	11	3	92.4	142.7	△50.3

- 注 1) 観測値は浜頓別アメダスのデータ。
2) 平年値は前10か年の平均値。
3) △印は対平年値比減を示す。

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（2 番草）

作況：良

事由： 2 番草は 1 番草収穫から 52 日後の 7 月 29 日に刈り取った。2 番草収穫は平年より 13 日早かったが、これは 1 番草収穫が平年より 14 日早かったためである。出穂茎が多く見られたため、草丈は平年よりかなり高かった。

生草収量は平年より大幅に多く、乾物率は平年を下回ったものの乾物収量は平年比 146% とかなり多収となった。これは、1 番草が生育期間中の高温少雨傾向のため低収（平年比 83%）となった一方、その後の再生に向けた養分蓄積は十分であったと想定されること、また 6 月中旬以降、7 月下旬まで適時の降雨にめぐまれたためと考えられる。

以上より、2 番草の作況は良といえる。

収穫期(月. 日)			収穫時草丈(cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較
7.29	8.10	△ 13	103	72	31

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
1454	885	569	23.8	28.0	△ 4.2	346	237	109	146

注) 平年値は前 7 カ年のうち、最豊年（平成 24 年）と最凶年（平成 27 年）を除いた 5 カ年の平均値である。